

【様式 6-2】

バレーボール No.30

SAGA 2024 国スポ 全障スポ

試合結果速報

種別	少年女子	会場	サロンパス®アリーナ
令和	6年10月8日	曜日	第3日目
準決勝		Eコート	第4試合

◎試合結果

勝利チーム	大阪府	3	}	25	-	21	}	0	東京都		
	25	-		20	25	-		21	25	-	21
		-				-				-	
		-				-				-	
		-				-				-	

設定時刻(プロ記載時刻) 14時50分	開始時刻 15時00分	終了時刻 16時21分
-------------------------------	-----------------------	-----------------------

【審判員】

主審: 山田裕貴 副審: 大嶺理香

記録員: 角凌 A・S: 本村美佑紀 A・S: _____

【次の試合】 (記入無き場合は上記試合が最終)

設定時刻(プロ記載時刻) 時 分	開始予定時刻 時 分	組合せ VS
---------------------	---------------	-----------

No.	送信時間	送信者	競技(団)委員長	記録報道主任	記録者
		10位	岸田	河東	河東

受信時間	記録本部

[様式 9-2]

バレーボール No. 3/

SAGA 2024 国スポ 全障スポ

審判副委員長

山本晋子

戦評用紙

種別 **少年女子** 会場 **サロンパス®アリーナ**

平成 **6** 年 **10** 月 **8** 日 火曜日 第 **3** 日目

準決勝 Eコート 第 **4** 試合

◎試合結果

勝利チーム

大阪府 **3**

25	-	21
25	-	20
25	-	21
	-	
	-	

0 **東京都**

【審判員】

主審：山田裕貴 副審：大嶺理香

記録員：角凌 A・S：本村美佑紀 A・S：

【戦評】

記載者：秋山拓志

1セット目序盤、大阪府は4番大森と3番花岡の連続スパイクでリードするが、東京都は10番小林のスパイクなどで3連続得点し、逆転して中盤に差し掛かる。大阪府は5番馬場、2番西村らの連続得点で再逆転し、その勢いのまま25-21で1セット目を奪取する。2セット目も1セット同様に大阪府が優勢に試合を進めていくが、東京都が4連続得点などで逆転するも、大阪府は10番岡のリリーフサーブから中盤に試合をひっくり返し、流れを掴む。最後は5番馬場のブロックが決まり、25-20で2セット連取する。3セット目序盤から中盤にかけて、大阪府は4番大森のスパイクなどで5連続得点し終盤を迎える。東京都も5番吉井と1番市川の得点などで1点差にまで追い上げるが、最後は大阪府がレシーブしたボールが、直接東京都のコートに落ち、25-21で大阪府が勝利を収めた。

【様式 6-2】

バレーボール No.26 SAGA 2024 国スポ 全障スポ

試合結果速報

種別	少年女子	会場	サロンパス®アリーナ		
令和	6年10月8日	火曜日	第3	日目	
準決勝		F	コート	第4試合	
◎試合結果					
勝利チーム 岡山県 3		25	-	19	1 愛媛県
		25	-	13	
		19	-	25	
		25	-	22	
			-		
設定時刻(プロ記載時刻)		開始時刻		終了時刻	
14時50分		15時00分		16時33分	
【審判員】					
主審: 外室喜英 副審: 本多栄司					
記録員: 宮崎康弘 A・S: 川内侅 A・S: _____					
【次の試合】 (記入無き場合は上記試合が最終)					
設定時刻(プロ記載時刻)		開始予定時刻		組合せ	
時 分		時 分		VS	

No.	送信時間	送信者	競技(副)委員長	記録報道主任	記録者
		104	岸田	河東	河東

受信時間	記録本部

【様式 9-2】

バレーボール No 27

SAGA 2024 国スポ 全障スポ

戦評用紙

審判副委員長

山本 裕五

種別 少年女子

会場 サロンパス®アリーナ

平成 6 年 10 月 8 日 火 曜日 第 3 日目

準決勝

F コート

第 4 試合

◎試合結果

勝利チーム

岡山県 3

25 - 19

25 - 13

19 - 25

25 - 22

□ - □

1 愛媛県

【審判員】

主審: 外室 喜英 副審: 本多 栄司

記録員: 宮崎 康弘 A・S: 川内 怜 A・S:

【戦評】

記載者: 江頭 辰弥

第1セット、序盤から愛媛県2番矢田のサーブと8番北川のスパイクでリードを奪う。その後、岡山県4番福村の高さのあるスパイクで追いつく。中盤は一進一退が続いたが、徐々に岡山県の攻撃が冴え、25対19で岡山県が先取した。第2セットの序盤は岡山県が主導権を握る。中盤は岡山県のブロックが効果的に機能し、愛媛県に流れを渡さず25対13で連取した。第3セットの序盤は愛媛県がリードする展開が続いた。特に愛媛県のセンター攻撃がよく決まり、終盤は岡山県が2点差まで詰め寄るも、愛媛県1番森山のブロックで流れを止め、25対19で愛媛県が取り返した。第4セット、岡山県はレフトスパイクで序盤のペースを握るが、愛媛県はセンター攻撃とブロックで流れを引き寄せ逆転に成功、しかし土壇場で岡山県が追いつき、そのままの勢いで連続ポイントを奪い、25対22で奪取、岡山県が勝利した。